

資料1

発達段階に応じた「学びをつくり出す4領域8能力」（例）

		小学校（低学年）	小学校（中学年）	小学校（高学年）	
発達段階		学びをつくり出す基盤形成の時期			
○発達課題 各発達段階において達成しておくべき課題を、「学びをつくり出す」ために必要な資質の形成という側面から捉えたもの。		<ul style="list-style-type: none"> 自己及び他者への積極的関心の形成・発展 身のまわりの役割や環境への関心・意欲の向上 夢や希望、憧れる自己のイメージの創造 目標に向かって努力する態度の形成 			
領域	領域説明	能力説明	発達段階の観点 (①、②に 順序性はない)	学びをつくり出すために育成	
人間関係形成能力	他者のよさを尊重し、自己のよさを発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同して学習に取り組んでいく。	【自他の理解能力】 自他の考え方や言動のよさを理解し、互いに認め合うことを大切に学びを進めていく能力	①理解の程度の高まり ②理解の対象範囲の広がり	①好きなことや嫌いなことをはっきりと言う。 ②友達と一緒に、助け合いながら学習を進める。	①自分の長所や欠点に気づき、自分らしさを発揮する。 ②学校にかかわる他者の考えを検討しながら学習を進める。
		【コミュニケーション能力】 多様な集団の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の学びを進めていく能力	①コミュニケーションの質の高まり ②コミュニケーションの対象の広がり	①あいさつや返事をきちんとできる。 ②自分の考えを話したりわからないことを尋ねたりする。	①自分の考えを分かりやすく表現する。 ②友達の気持ちや考えを理解し、協力して学習や活動に取り組む。
情報活用能力	学習することの意義や必要性を理解し、幅広く情報を活用して、課題解決や生き方の追究に取り組んでいく。	【情報収集・探索能力】 学習課題や自己の生き方に関する様々な情報を収集・探索し、必要な情報を選択・活用しながら、課題解決を進める能力	①情報収集の範囲の広がり ②情報分析の質の高まり	①先生の説明や友達の話をしっかり聞き、分からないときは尋ねる。 ②聞いたり、尋ねたりしたことをまとめる。	①学習課題に必要な情報を書籍やweb等を利用して収集する。 ②収集した様々な情報を分類・整理して、関係あるものを選択する。
		【価値理解能力】 学習活動の価値を感得することを通して、学習することの意義や必要性を理解し、今しなければならぬこと等を理解していく能力	①価値付ける内容の質の高まり ②価値付けた学びの生かし方の広がり	①分かったことやできたことを明らかにして価値付ける。	①分かったことやできたこと、感じたことを分かりやすく表現して価値付ける。 ②分かる(できる・感じる)ようになったことに喜びを感じ、次の学びへの期待をもつ。
設計遂行能力	夢や希望の実現に向けて、自己の役割や学習の目的を考え、見通しをもって活動や学習に取り組んでいく。	【役割把握・認識能力】 学校や家庭・地域における役割の存在及び遂行の意義を理解し、自己の果たすべき役割についての認識を深める能力	①役割の把握の広がり ②役割の認識の高まり	①学習や生活のねらいにふさわしい行動や発言をする。 ②身近な小集団での問題に対して積極的ににかかわろうとする。	①学校生活における多様な役割分担の必要性に気付く。 ②積極的に自己の責任を果たし、自他の役割遂行を適切に評価する。
		【計画実行能力】 めざす目標や生き方及びその実現のための課題を明らかにし、解決のための計画(見通し)を立てて学習を進めていく能力	①～③の具体化の範囲の広がり ①計画段階 ②実行段階 ③評価段階	①学習の目的を意識する。 ②学習や活動の準備や片付けがきちんとできる。 ③学習を振り返る。	①目的を明らかにし、解決の計画を立てようとする。 ②解決の計画通りに進めようとする。 ③学習を振り返ることができ、自分の考えをもつ。
意思決定能力	自らの意思でよりよい判断を行い、主体的に課題に取り組んで、その成果を次の学習に生かしていく。	【選択能力】 様々な考え・活動等について比較検討したり、試行したりして、根拠を明らかにして判断し、よりよく選択していく能力	①根拠の質の高まり ②選択範囲の広がり	①自分が知りたいことややってみようとするものを選ぶ。	①学習課題の解決にあたり、自分なりの根拠をもって選択しながら活動を進める。
		【課題解決能力】 学習のねらいを達成するために、課題に積極的に取り組み、主体的に解決し、その成果を次の学習に生かしていく能力	①課題、解決方法の質の高まり ②学びの生かす範囲の広がり	①与えられた学習課題の解決を自分が選んだ方法で行う。 ②学習のめあてをしっかりと分かっている。	①解決すべき学習課題を自分で設定し、アイデアを出して計画を立て、解決する。 ②自分で学習をまとめる。

資料 1

中学校	高等学校
学びや生き方への見通しをもち、自らの可能性を実感する時期	専門性を生かした学びをつくり出し、社会的移行を準備する時期
<ul style="list-style-type: none"> 肯定的自己他者理解と自己有用感の獲得 自己の成長に基づく学ぶことの意義の獲得 見通しをもった課題解決と選択・決定 学びや生き方に関する探索と吟味 	<ul style="list-style-type: none"> 自己他者理解の深化とその受容 社会的移行を意識した学びの確立 専門性を生かした課題解決と選択・決定 学びや生き方に関する現実的吟味

国立教育政策研究所
「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について」における「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み(例)」をもとに作成

成ることが期待される具体的な能力・態度

<ol style="list-style-type: none"> ①自分の考えや行動のよさが分かり、それを生かして自己の可能性を感じる。 ②身近な社会にかかわる他者の立場を考えた言動の必要性を理解しながら学習を進める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①自分の能力・適正を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。 ②他者の価値観や個性を理解し、それを生かしながら学習を進める。
<ol style="list-style-type: none"> ①目標を共有し、他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする。 ②自他に対して、それぞれの役割や立場を尊重し、持ち味を生かして互いに補充しながら学習を進める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①自己の思いや意見を適切に伝え、他者の意思等を的確に理解しようとする。 ②多様な他者と、場に応じた交流を図り、自他の持つ専門性や特異性を生かしながら学習を進める。
<ol style="list-style-type: none"> ①学習課題に必要なより多くの情報を、様々なメディアを通して収集する。 ②多様な情報の中から、よりよい情報を根拠を明らかにして選択し、必要に応じて工夫を加え活用する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学習課題や生き方に関する情報を、得意分野や専門性を生かして収集する。 ②多様な情報を多面的・多角的な視点をもとに科学的に分析し、必要に応じて工夫を加え、よりよい根拠として活用する。
<ol style="list-style-type: none"> ①学びの中での自分の新たな気付きや成長を価値付け、学ぶことの意義や必要性に気付く。 ②様々な学習活動で価値付けたことを、その後の学習や生き方を考えることに生かし、自己の可能性を広げる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学習活動を通じた成果を、社会的な意義と関連付けて価値付ける。 ②学びの成果を社会における必要性と関連付け、より高次の学びへの期待をもつ。
<ol style="list-style-type: none"> ①自他の考えや行動のよさを生かす役割分担を考え、共に有用感を味わおうとする。 ②自他の役割遂行の過程で、見直しや修正を加え、よりよい解決を図ろうとする。 	<ol style="list-style-type: none"> ①それぞれの得意な分野を生かす役割分担を考える。 ②他の分担と進捗状況を確認し合いながら、積極的によりよい解決を進める。
<ol style="list-style-type: none"> ①いくつかの可能な計画を見直し、価値性、効率性等から比べ、よりよい計画を立てる。 ②目的、内容、方法、人(意欲)等の観点で適切な見直しを行い、計画の改善を図る。 ③学習を適切に振り返り、次の機会に生かすべきことをまとめる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①全体計画、部分計画、個人計画などの特質を理解し、目的に応じて使い分けて、計画を立てる。 ②全体計画、部分計画、個人計画の関連性を考え、進捗状況によって必要な部分を修正して計画を改善する。 ③学習を適切に振り返り、社会生活に生かすべきことをまとめる。
<ol style="list-style-type: none"> ①多様なメディア情報や協働的な活動を基に視点を明らかにして比較したり、試行したりして、その根拠に基づいた情報を選択する。 ②選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学習経験や生き方(社会生活への影響)などから、選択の基準となる自分なりの価値観、判断基準をもつ。 ②多様な選択肢の中から、専門性を生かして、自己の意志と責任でよりよい情報を主体的に選択する。
<ol style="list-style-type: none"> ①よりよい生活や学習、生き方等をめざして、自ら学習課題を設定し、主体的・協働的に課題解決に取り組む。 ②学習課題の解決の成果を次の学習や今後の生活に生かすための見直しをもつ。 	<ol style="list-style-type: none"> ①よりよい社会や学習、生き方等の実現を目指して、自ら学習課題を設定し、専門性を生かしながら、より現実的な解決に取り組む。 ②学習課題の解決の成果をより高次の学習や生活に生かすことへの意欲を高め、実行する。

学びをつくり出す視点でキャリア発達にかかわる4領域8能力を新たに作成し、まとめたものが左の表になります。

このような表を各学校の実態に応じて設定していくことが「学びをつくり出すキャリア教育」を行っていく上で重要です。

これらの能力は、学習において「どのように学ぶか(学び方)」と強く関連しています。したがって、各教科・領域の授業の学習活動を通して高めていくことが大切です。

学年部会や教科部会、学校全体で、確認したり、改編したりすることから始めましょう！
山田小学校第3学年では、次のような重点化した能力を設定しています。
「課題解決のために、自分の解決方法を選んで追究活動に生かす子ども」

